

北近江の戦国史 3



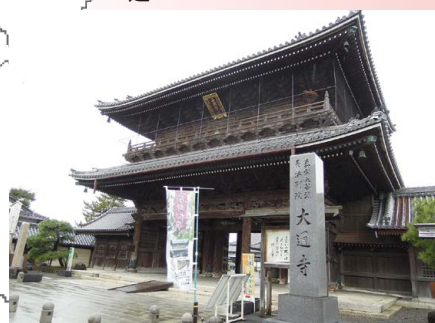
堂木山砦の堀切



田上山城跡馬出



神明山砦の堀切



大通寺山門



北近江の戦国史3 関連地図

発行：令和8年10月12日

編集：滋賀県観光文化スポーツ部文化財保護課

安土城・城郭調査係

〒520-8577

滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL 077-528-4678 FAX 077-528-4956

Mail castle@pref.shiga.lg.jp



コース 1

堂木山砦跡・神明山砦跡（長浜市）

堂木山砦と神明山砦は、余呉湖の西から北東に延びる丘陵に立地しています。丘陵先端の尾根上（標高239m）に築かれた堂木山砦では土塁で囲まれた3つの曲輪や喰い違い虎口、堀切などを見ることができます。鳥打坂越えと呼ばれる峠を隔てた西の尾根上（標高295m）に築かれた神明山砦の主要部は、土塁で囲まれた主郭に副郭が取り付きます。その西側には二重の堀切が配置され、西の防御に備えています。

堂木山砦と神明山砦が築かれた丘陵の先端は、麓に北国街道が通る向かいの山地とは500mほどしか離れていません。標高403mの山頂に築かれた向かいの東野山城とともに北国街道を東西両側から挟み込むことで、柴田軍の南下を防ぐための第一防御線として羽柴軍が築造したと考えられています。



コース2 田上山城跡（長浜市）

田上山城は、賤ヶ岳の戦いにおける羽柴秀吉の本陣であった浄信寺（木ノ本地蔵院）の背後の田上山の山頂に築かれ、堂木山砦と神明山砦とともに柴田軍の南下を防ぐための第一防御線となっていました。田上山城には羽柴秀吉が布陣し、賤ヶ岳の戦いの実質的な指揮を執っていました。城は四つの郭で構成されており、山頂に位置する郭から三方の尾根上に郭が展開します。北側に位置する郭では虎口の前面にかざし土塁が設けられるだけでなくさらに150m進んだ先にも土塁を構築し北方への守りを固めています。





コース 3 長浜城下町跡(長浜市)

天正元年（1573）9月、織田信長は小谷城を攻め、浅井氏を滅亡させました。羽柴秀吉は小谷城攻めの戦功により、浅井氏の旧領湖北三郡を与えられ、居城として琵琶湖岸に長浜城を築きました。発掘調査で湖岸に築かれた石垣が発見されましたが、今は埋め戻されて、石垣のラインが地面に表示されています。また、城の東側に城下町を建設しました。長浜城下町は内部を北国街道が南北に通る、東西街路と南北街路が碁盤の目状に築かれた整然とした町割が特徴で、八幡（滋賀県）や大坂（大阪府）へと続く、豊臣城下町の初期のプランが見られます。



①「従是南長濱領」石碑



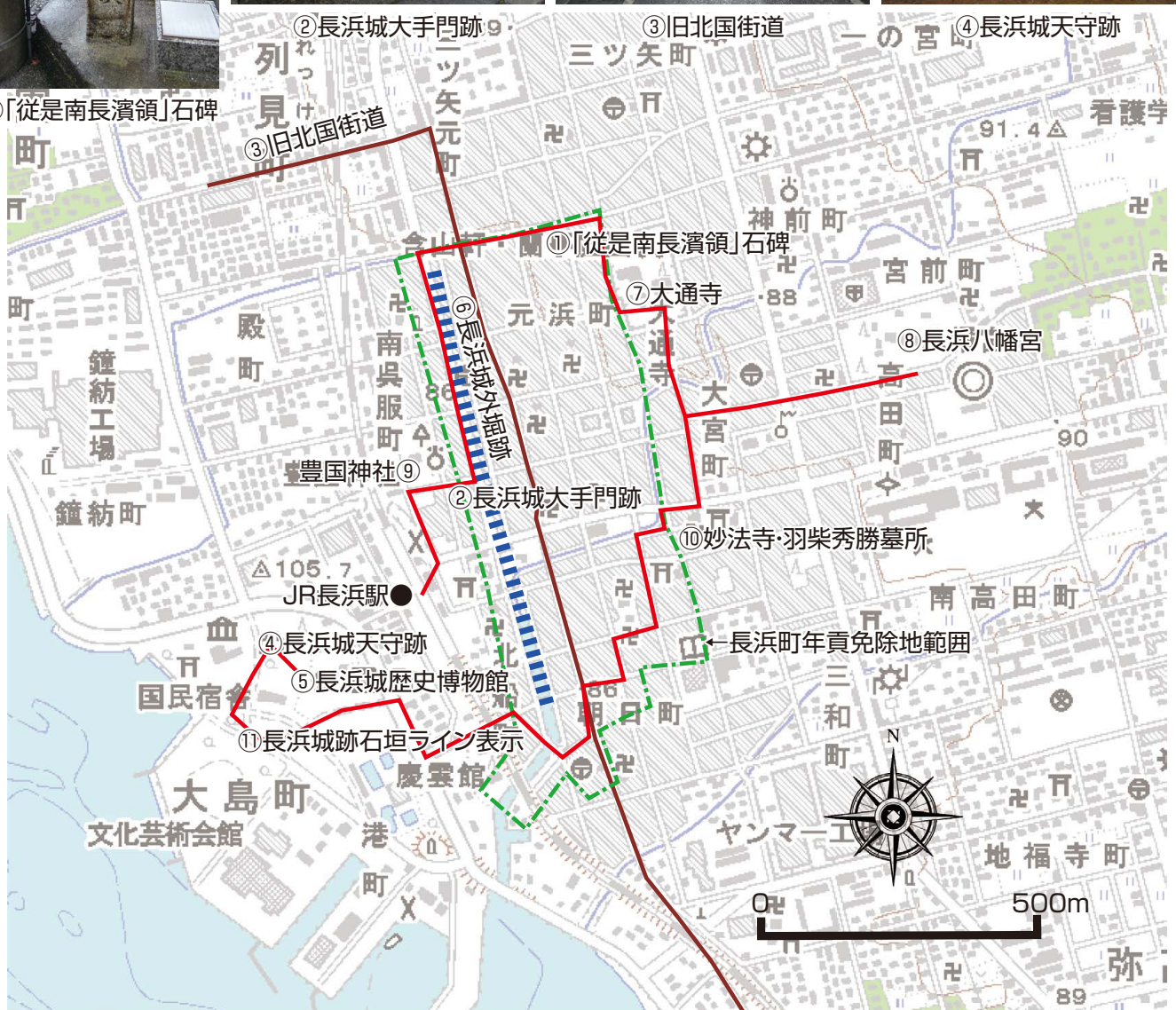
②長浜城大手門跡



③旧北国街道



④長浜城天守跡



⑥長浜城外堀跡



⑦大通寺



⑩妙法寺・羽柴秀勝墓所



⑪長浜城跡石垣ライン表示